

【柱3】

(1) 地域を核とした健康づくりの促進

① 身近な地域での健康づくりの促進

番号	事業名	内容									担当部署
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R6 目標値	
柱3(1)①ア	フレイル予防事業	地域包括支援課、介護予防センター及び地域包括支援センターで連携しながら、フレイル予防の3つの柱（栄養・運動・社会参加）に基づく介護予防教室や体操教室を開催するとともに、これらを通じた地域における様々な自主活動支援を行います。主に高齢者を対象に地域で活動している地域サロンや団体に対して、講師を派遣しフレイル予防に効果的なプログラムの提供（フレイルチェック、体操、レクリエーション、口腔、栄養の座学や実技）を行います。							・R5取り組みの成果、課題 ・R6に向けた具体的施策や方向性 ・R5実績が△、×の場合は改善策		※複数の担当が該当する場合、青色セルの部局をご記入ください。
		フレイルチェック講座の参加者数	847人	1,050人	451人	1,100人	632人	1,157人	1,453人	1,400人	

② 生活習慣病の予防の促進

番号	事業名	内容									担当部署
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R6 目標値	
柱3(1)②ア	健康づくり普及啓発	多様な機会を捉えて、がんや生活習慣病の予防について、普及・啓発を推進していきます。									※複数の担当が該当する場合、青色セルの部局をご記入ください。
		がん検診の新規登録者	28,868人	19,140人	13,488人	28,873人	20,563人	23,083人	21,717人	29,053人	
柱3(1)②イ	特定健康診査及び特定保健指導事業	40歳から年度内に74歳以下の柏市国民健康保険被保険者を対象に特定健康診査を実施し、健診結果に応じた特定保健指導を実施することにより生活習慣病の発症及び重症化を予防します。目標値は、柏市国民健康保険第2期データヘルス計画(中間評価)の目標値とした。									健康増進課
		特定健診受診率	42.4%	46.8%	42.3%	47.0%	43.90%	44.20%	11月に法定報告が確定。	—	
		特定保健指導実施率	23.0%	26.7%	23.3%	25.9%	18.30%	24.30%	11月に法定報告が確定。	—	

③ こころの健康づくりの充実

番号	事業名	内容									担当部署
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R6 目標値	
柱3(1)③ア	自殺予防対策事業	事前予防を中心とし、普及啓発や人材育成、相談事業、遺族支援などを実施していきます。また、外部委員を含めた自殺予防対策連絡会議を開催し、実施方針の検証・評価、今後の自殺対策の方向性を検討していきます。									福祉政策課
		無料相談の相談件数	326件	443件	478件	400件	598件	639件	683件	500件	
柱3(1)③イ	専門職による相談支援と連携の強化	保健所や市役所、委託相談支援事業所に精神保健福祉士等の専門職を配置して、心の健康や医療に関する相談、福祉サービス等の生活相談に対応する多様な相談窓口を確保するとともに、対象者本人のみならず家族や支援者等も含めた支援を実施します。									保健予防課
		委託相談支援事業所における専門職配置数	18人	24人	24人	20人	23名	22名	21名	22人	
柱3(1)③ウ	かしわお元気コール事業	在宅福祉サービスを利用していない孤立しがちな高齢者などを対象に、各地域いきいきセンターを拠点に、電話声かけボランティアによる安否確認を行います。									柏市社会福祉協議会
		利用登録者数	54人	42人	59人	90人	61人	73人	70人	120人	
		延電話回数	2,209回	1,955回	2,117回	3,600回	2,652回	3,174回	3,172回	4,800回	

(2) 地域医療の充実

① 在宅医療の普及と定着

番号	事業名	内容									R6 目標値	担当部署 ※複数の担当が該当する場合、青色セルの部署がご記入ください。
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	・R5取り組みの成果、課題 ・R6に向けた具体的施策や方向性 ・R5実績が△、×の場合は改善策		
柱3(2)①ア	在宅医療・介護連携推進事業【再掲】 柱2(2)②ア	医療・介護の多職種連携を深め、在宅医療を中心とした地域医療体制を推進するため、「在宅医療・介護 多職種連携協議会」を設置し、多職種連携のルール作りを行うとともに、ICT※システムの普及、多職種研修の企画運営、市民向けの在宅医療の普及、啓発活動を行います。また、柏地域医療連携センターを地域医療の拠点として、在宅医療が必要な市民への調整支援（在宅主治医がいない場合の主治医、副主治医の調整及び多職種連携チームのコーディネート）を行います。	在宅医療利用 者・家族 の生活満足 度	—	利用者 62.6%	—	増加	—	利用者 59.9% 家族 59.8%	多職種連携協議会：3回 多職種連携・情報共有システム部会：3回 研修部会：2回 啓発広報部会：3回 部会の新規開設数：53部屋 多職種連携研修会：1回 顔の見える関係会議：6回 市民啓発：12回	増加	地域医療推進課

② 救急医療体制の整備

と 救急医療体制の整備		内容									担当部署	
番号	事業名	評価指標	H29	R1	R2	R3(中間年)	R3	R4	R5	R6		
			実績値	実績値	実績値	目標値	実績値	実績値	実績値		・R5取り組みの成果、課題 ・R6に向けた具体的施策や方向性 ・R5実績が△、×の場合は改善策	
											※複数の担当が該当する場合、青色セルの部署がご記入ください。	
柱3(2)②ア	救急医療対策事業	小児救急をはじめとした救急医療の体制確保に向け、医師会等関係団体と継続的に協議を行い、適切な体制確保策を検討します。 必要な費用の一部を市が補助し、安定的な体制維持を図ります。										
		小児科二次 病院待機 (休日昼 間)の待機 日充足率	84.70%	86.80%	77.80%	増加	81.94%	84.72%	84.93%	救急医療補助金あり方検討会を開催し、医師会だけではなく医療公社管理課、消防局と横の連携も図っている。充足率は、令和2年度の新型コロナウイルスの影響で減少していたが、その後コロナ前に戻りつつある。	増加	地域医療推進課

③ 在宅サービス提供体制の充実

番号	事業名	内容									R6 目標値	担当部署 ※複数の担当が該当する場合、青色セルの部署がご記入ください。	
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	・R5取り組みの成果、課題 ・R6に向けた具体的施策や方向性 ・R5実績が△、×の場合は改善策			
柱3(2)③ア	さわやかサービス事業 【再掲】 柱1(1)②ウ	住民参加型の会員制による有償在宅福祉サービスとして、生活支援・介護、産前産後、移動支援を行います。 また、地域のたすけあいサービスへの繋ぎや支援、人材育成などを行います。											
		サービス提供件数	4,619件	4,196件	2,953件	4,500件	3,758件	4,088件	4,235件	コロナ禍からの回復とともに、サービス利用件数も徐々に増えてきている。 協力会員の増加のために、新富地域で登録説明会を実施した。		4,400件	柏市社会福祉協議会
		相談件数	1,199件	4,549件	4,004件	1,300件	4,175件	4,292件	5,208件			1,500件	
柱3(2)③イ	在宅医療・介護連携推進事業 【再掲】 柱2(2)②ア 柱3(2)①ア	医療・介護の多職種連携を深め、在宅医療を中心とした地域医療体制を推進するため、「在宅医療・介護 多職種連携協議会」を設置し、多職種連携のルール作りを行うとともに、ICTシステムの普及、多職種研修の企画運営、市民向けの在宅医療の普及、啓発活動を行います。また、柏地域医療連携センターを地域医療の拠点として、在宅医療が必要な市民への調整支援（在宅主治医がいない場合の主治医、副主治医の調整及び多職種連携チームのコーディネート）を行います。											
		在宅医療利用者・家族の生活満足度	—	利用者 62.6%	—	増加	—	利用者 59.9% 家族 59.8%	—	多職種連携協議会：3回 多職種連携・情報共有システム部会：3回 研修部会：2回 啓発広報部会：3回 部屋の新規開設数：53部屋 多職種連携研修会：1回 顔の見える関係会議：6回 市民啓発：12回		増加	地域医療推進課
柱3(2)③ウ	喀痰吸引等の特定行為ができるホームヘルパーの育成	医療的ケアを必要とする子どもや障害者が安心して地域生活を送れるよう、喀痰吸引等の特定行為ができるホームヘルパーの養成を支援します。											
		本市における喀痰吸引基礎研修修了者数	4人	0人	10人	4人	3人	3人	7人	令和5年度は前年度より実績件数が増えたが、今後件数が安定してくるかは分からない。医療的ケアに対する体制強化をするために、周知が今後必要。		4人	障害福祉課
柱3(2)③エ	精神障害者に対応した地域生活支援システムの構築のための関係者協議の場の設置	地域包括ケアシステムの構築のために、支援策の検討や医療と福祉の連携のために関係機関による協議の場を設置します。 地域生活支援拠点による相談、体験、緊急対応、地域移行支援による退院支援と地域生活促進、地域定着支援による単身生活者等のサポート、グループホーム整備等による住まいの確保及びピアサポーターの養成による当事者による支援の提供の取組を進めます。											
		実施回数	—	7回	6回	7回	7回	8回	7回	引き続き、市民へのメンタルヘルスの普及啓発を行い、「医療と福祉の連携」「福祉と介護の連携」についての協議を行った。 令和6年度も引き続き、市民を主体とした地域関係者、関係機関等との協働による取組みを推進していく。		7回	保健予防課
		参加延人数	—	197人	117人	90人	121人	182人	179人			90人	保健予防課

(3) 社会参加の促進

① 高齢者・障害者の社会参加

番号	事業名	内容									R6 目標値	担当部署
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R6 目標値		
柱3(3)①ア	高齢者の就労・社会参加促進事業	高齢者が生きがいを持って生活できるよう就労、ボランティア活動、趣味活動、学習、健康づくり等の施策の情報を一元化して、高齢者に提供し、高齢者の就労・社会参加を促進します。同事業を推進するため、平成28年6月から柏市生涯現役促進協議会に参画、連携し、高齢者向けの仕事の開拓や、高齢者の希望に応じたコーディネートの実施、セミナーの開催、ウェブ上での情報提供等を行っています。										健康政策課
		就労している前期高齢者の割合	29.60%	34.30%	(実績値の根拠であるアンケート調査が隔年実施のため)	増加		42.25%		令和5年度は7回セミナーを実施し、200名の参加があった。セミナーでは基調講演でシニアの意識変容を促すことや就職面接会を実施するなど、入り口から出口までを意識したセミナーを実施することが出来、シニアの就労に成果があった今後は他関係機関とより連携していき、高齢者の就労・社会参加を促進していく。	増加	
柱3(3)①イ	障害者就業・生活支援センターなどによる就労相談事業	就労支援機関の取組を支援し、一人ひとりのニーズに沿った相談・支援体制の充実を図ります。										障害福祉課
		就労決定者数	47人	33人	24人	55人	41人	43人	36人	前年度と比較すると、就労相談が増える一方で就労決定に結びつくことができなかった。課題を踏まえ、障害者の就労活動に伴う支援と企業側への雇用促進等、双方への支援をより強化していく必要がある。	60人	
柱3(3)①ウ	老人福祉センターの運営	老人福祉を増進するための施設として、高齢者の方の生活相談、健康増進、教養の向上、老人クラブなどの援助やレクリエーションなどの機会の提供をします。積極的な社会参加は人と人とのつながりを生み、孤立や孤独の防止にもつながります。人とのかわりあいや趣味などをきっかけとした社会参加がしやすい環境をつくります。										高齢者支援課
		施設利用者延べ数	147,779人	108,885人	23,437人	150,000人	66,514人	71,446人	74,187人	新型コロナウイルスの影響により、令和2年度に利用者が減少した後、老人福祉センターまつり等のイベントを開催する等して活気を取り戻しつつあるが、コロナ禍前の利用者数には戻っていない。 利用者の固定化が指摘されるが、従来の利用者だけでなく新規の利用者にとっても気軽に利用できる施設となるよう、講座の受講対象を多世代に広げるなど利用のきっかけづくりを行う。 また、令和8年度に柏寿荘の内装改修工事を行う予定であり、これを機に60歳未満の方の利用も可能とするなど多くの方にご利用いただけるよう老人福祉センターのあり方を含め検討を進める。	150,000人	
柱3(3)①エ	就労定着支援事業	就職後も安定して仕事を継続することが可能となるよう関係機関が連携し、利用者や企業への支援体制を充実し、職場定着率の向上を目指します。										障害福祉課
		就労定着支援利用者数	—	61人	56人	55人	49人	45人	59人	前年度と比較すると、就労定着支援利用者数は増加しており、定着支援が必要されていると思われる。障害特性を理解し、長く職場で働ける環境づくりを強化していくために企業への指導、障害者へのサポートは今後もジョブコーチ制度や企業個別相談会などを通じ実施していく。	60人	
柱3(3)①オ	教育福祉会館リニューアルにあわせた拠点整備事業	教育福祉会館耐震改修工事に併せ、各分野別に実施していた福祉活動を有機的に結びつけ、障害者や高齢者など、誰もが生きがいをもって社会参加しやすい環境をつくります。										福祉政策課 高齢者支援課 障害福祉課 子育て支援課
		環境整備実施	未実施	未実施	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	拠点整備実施済（R3年1月リニューアルオープン） 地域活動の場の提供により、地域課題の解決につながる役割を担い、地域共生社会の実現を目指します。	実施済	柏市社会福祉協議会

② アウトリーチの仕組みづくり

番号	事業名	内容									R6 目標値	担当部署
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R6 目標値		
柱3(3)②ア	アウトリーチの仕組みづくり	必要な支援が届いていない人に対し、支援を届けるアプローチができるよう体制を整え、課題対応力を向上させるよう取り組みます。										福祉政策課
			—	—	—	—	—	—	—	関係機関との連携により、個別ケース会議等で情報共有する機会が多くなり、ひきこもりの対象になり得る方の把握や同行支援に結びついている。	—	障害福祉課

③ 参加支援の充実

番号	事業名	内容									R6 目標値	担当部署
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値	R6 目標値		
柱3(3)③ア	イベント開催事業	柏市教育福祉会館を拠点とした、多世代交流によるきっかけづくりや多様なかが社会参加できるイベント企画・実施などの支援を行います。										福祉政策課
			—	—	—	—	—	—	—	主にラコルタ柏2階において、当該事業の委託先である柏市社会福祉協議会が多世代交流や障害理解等に関するイベントの企画及び実施を行った。	—	
柱3(3)③イ	障害者等社会参加コーディネート事業	障害に関係なく、ゆるやかな社会参加ができる居場所づくりを行います。										障害福祉課
			—	—	—	—	—	—	—	社会参加に不安のある方や交流を持ちたい方に対し、日中の活動スペースを提供して個々の創作活動やイベントなどを行った。イベント等を行ってきた結果、年々利用者が増えてきている。	—	